

# Kendai Magazine



Fukuoka Prefectural University

福岡県立大学広報

No. 32

2022 Spring



## Contents

秋興祭	P2
県大生おすすめ！ 田川のお店	P3
授業参観ウィークを実施しました	P3
卒業式典	P4
成績優秀者コメント	P5
TOPICS	P6~7
輝く先輩！	P8
教員研究紹介	P9
サークル紹介	P10
退職教員のご紹介／TOPICS	P11

# 第30回 秋興祭

第30回秋興祭の開催にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

二日間天候にも恵まれ、まさに学祭日和で会場は大変な盛り上がりとなりました。

今年の秋興祭は、新型コロナウイルスの影響で、例年とは異なる開催方法となりましたが、県大生向けの県大すごろくや第30回記念企画など、県大生が楽しむことができる催しを取り入れました。毎年恒例となっているシンボル大アートや提灯、ステージ企画も多数の来場者の方にご覧いただき大成功となりました。また、ステージ上でのパフォーマンスでも多くの方々にご協力いただきました。秋興祭を長年ご支援くださっている皆様のおかげで今年も無事に秋興祭を終えることができましたことを委員一同深く感謝しております。

2年ぶりの秋興祭として、皆様の記憶に残るような秋興祭を目指し念入りに準備を重ねて参りました。しかし、まだまだ課題の残るところもあります。今回の反省点を活かし、来年度以降もよりよい秋興祭を創り上げられるよう委員一同努力してまいりますので今後ともよろしくお祈りいたします。

第30回秋興祭実行委員会

実行委員長 山下 由樹



県大生おすすめ!

# 田川のお店

秋興祭が今年 30 回目の開催となることを記念して、秋興祭実行委員のアンケートによる県大生おすすめの田川市の飲食店ランキングをご紹介します。



焼き鳥が安いし美味しい!  
実家くらいアットホーム  
居酒屋といえばここ!



## ★おすすめメニュー

- ・山芋バター ・茶そば
- ・ずり刺し ・キムチ焼きそば
- ・焼きナス ・焼きビーフン

## マスター小野さんより

野村のこだわり! 41年の歴史!  
一生懸命さと愛情でおいしさ  
詰まっています!



もつ鍋さいこう!!  
お酒も種類がたくさんあって  
よく行っていました。



## CHIKU CHIKU

学生向けの料理が多い。  
リーズナブルでアットホームな  
雰囲気が好きです。



## お茶屋さんの 焼きもち(篠原茶舗)

大福がとにかく美味しい!  
ご夫婦の温かくて  
優しい雰囲気が大好きで、  
お話しするのが、楽しみです。



## Dining 麒麟さん

マスターが優しくどの料理も美味しい。  
おしゃれだけど、敷居が高すぎない。



## 萬平浪漫

友達の誕生日にケーキを買っています。  
2人くらいで食べられる小さい  
ホールケーキも可愛くておすすめです。

## ★おすすめメニュー

- ・たい焼きショコラ ・抹茶の焼きもち

## 授業参観ウィークを実施しました

令和3年11月1日(月)から11月5日(金)に、高校生や教員が授業を見学できる「授業参観ウィーク」を実施しました。

この「授業参観ウィーク」は、大学の授業参観を通して、教授法や教材等について優れた取り組みを見出し、自分の授業に取り入れていくことで授業改善につなげることを目的として行っています。

また、地域の高校生が大学の授業を経験することで、それぞれの未来像の具体化と、将来のキャリア形成の道筋になることも期待されます。

今年度は、これまでで最も多い79名の方に参加いただきました。秋に開催したことで、例年になく高校3年生の参加が多くみられました。今後とも地域との連携はもとより、教員相互の授業参観を通して、より良い授業づくりに努めてまいります。



# 卒業証書・学位記授与式



令和4年3月17日(木)

学部255名、大学院25名の計280名に  
卒業証書・学位記が授与されました。



柴田洋三郎学長は式辞の中で、「卒業生の皆さんには、在学中に身につけた、社会人基礎力、実技やボランティア、インターンシップなどで培われた対人支援力など、一生の規範とすべき潜在能力が備わっています。これらの能力をもとに、個々人の創意工夫による独自の道を志し、これから遭遇する未知の課題に対する新たな展開を目指して、離反することをいとわず、「守・破・離」臨機応変にその時々々の最善解を追い求め、何事にも積極的に挑戦されるよう望みます」と述べました。

また、成績優秀者として、公共社会学科の向原 夏輝さん、社会福祉学科の寺原 南海さん、人間形成学科の高山 彩夢さん、看護学科の須志田 莉子さん、高村 由香理さん、吉丸 宏美さんの計6名の卒業生が表彰されました。

今年は、新型コロナウイルスの感染予防のため、式典は卒業生、修了生、教職員と少数の来賓のみで執り行い、式典の様子は学科ごとに分かれた教室に中継された後、各教室で卒業生一人一人に卒業証書・学位記が授与されました。



▲祝辞 秋田 章二 県議会議長



▲祝辞 生嶋 亮介 副知事



▲式辞 柴田 洋三郎 学長

人間社会学部 公共社会学科

## 向原 夏輝



自分が人を楽しませるのは得意ではないのですが、福岡県立大学で過ごした4年間は、周りの楽しい学生や先生のおかげで、とても楽しく過ごしました。おおむねのんびりとした大学生活でしたが、ここぞという時に頑張ることができたのは、そうした温かい雰囲気の大学に居られたからだと思っています。みなさん本当にありがとうございました。

また、公共社会学科での多様な学びや、サークル・ボランティア活動などを通して得られた経験は、私にとって貴重な財産となりました。

今後は、就職により田川を離れますが、第二の故郷である田川に時々帰ってきたいなと思っています。

人間社会学部 社会福祉学科

## 寺原 南海



大学は山あり谷ありで、きついことも楽しいことも多くありました。福祉を学んだことで、利用者さんの立場に寄り添ってサポートするためには、まず「自分を知ってあげる、大事にしてあげる」ことが大切だと考えました。私はこの4年間で自分を大切にできるようになり、心が成長したと思っています。

また、心を許せる友達、親身に話を聴いてくださる先生方に出会い、何度も支えて頂きました。皆さんに出会えて、本当に良かったです。

これからは、利用者さんにとってより良い支援を見つげるために、日々試行錯誤していきたいと思います。4年間本当にありがとうございました。

# 成績優秀者として表彰された皆さん

人間社会学部 人間形成学科

## 高山 彩夢



福岡県立大学での4年間はとても貴重な経験でした。3、4年次は、コロナ禍により不安も多い中での実習や卒業論文執筆となりました。しかし、大変な状況の中でも、私たちが学びを得られる環境を作ってくださった先生方、楽しさや不安を共有し心の支えになってくれた友人、温かく見守り応援してくれた家族のおかげで困難を乗り越えることができました。

皆様に支えてもらった感謝を忘れずに、そして私も誰かを支えられるように、春からは大学院生として努力を続けていきます。この大学で多くの人と出会い、思い出をつくることができ、本当にありがとうございました。

看護学部 看護学科

## 須志田 莉子



福岡県立大学で過ごした4年間の学生生活は、今思うとあつという間で、とても充実した貴重な時間となりました。日常生活を含め、講義や実習、サークル、ボランティア活動などそこで得た多くの出会いや経験は、私の視野を広げ、大きく成長させてくれました。

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な制約がある中、病院や学内、リモートでの看護実習となりました。そのような中、どの状況においても、私たちに患者さんと真摯に向き合う機会や看護を学ぶ場を作ってくださった先生方や指導者の方々、共に乗り越えてきた友人には深く感謝しています。また、私は看護学科の養護教諭課程に所属しており、いつも仲間とともに協力し、励まし合いながら様々なことにチャレンジしました。この仲間たちに出会えたことはとても幸せで、活動できる環境を与え、いつも支えてくださる先生方や地域の方々、日頃から見守ってくれた家族には心から感謝しています。

これまで得た経験や人との繋がり、感謝の気持ちを大切にしながら、これからも目標に向かって努力していきます。4年間本当にありがとうございました。

看護学部 看護学科

## 高村 由香理



大学で過ごした4年間はあつという間でしたが、とても充実していたと思います。特に2020年からは生活環境が一変し、演習や実習などがイレギュラーな形となり、不安な気持ちでいっぱい時期もありました。しかし、大学の友人や先生方、家族の支援もあり、新たな壁にぶつかっても乗り越えることができました。本当に感謝しています。また、大学での学習環境や実習で学ぶ機会など、全てに「ありがとう」の気持ちを持って積極的に学ばないといけないと思いました。

4年間で学んできたことを無駄にせず、これからも自分を磨き続けたいと思います。4年間本当にありがとうございました。

看護学部 看護学科

## 吉丸 宏美



卒業するのが寂しくて、もっと学んでいたいと思えるほどに実りのある幸せな4年間でした。卒業する今になって、入学試験前にもともに試験勉強に励んだ仲間や先生の顔が思い浮かびます。

先生方をはじめ、学生生活を支えてくれた家族や友人には感謝の気持ちでいっぱいです。特に、課題や実習で負担が大きくなったときに乗り越えることができたのは学友たちのおかげだと思っています。

4月からは新しい生活が始まりますが、福岡県立大学で学んだことを忘れず、他者と共生していく心をもって学び続け、自身の道を切り開いていきたいです。4年間本当にありがとうございました。

## Topics 01

### 学長懇談会を開催しました

令和4年1月31日(月)に学長懇談会を行いました。

学長懇談会は、学生との交流を大切に考える学長の意向から、毎年1回学長と学生自治会が意見交換を行う場として開催しています。

懇談会は、新型コロナウイルスの影響によりオンラインで行われ、学長、事務局職員、学生自治会の役員が参加し、学生から大学へ要望を伝えました。

学生からは「学生用の駐車場を増やしてほしい」、「テストの日程を早めに教えてほしい」、「食堂や売店の営業時間を延長してほしい」など様々な要望が出され、学長や事務局職員と活発な意見交換が行われました。

学長懇談会は、学生の意見や困ったことを知り、より良い大学にしていくための重要な機会となっています。大学側(事務局)では気付かないことや、見過ごしてしまうことについて意見や要望をいただくことで、改善のきっかけとなっています。今後も、このような機会を設けることで、学生ファーストの大学づくりを進めていきたいと思ひます。



## Topics 02

### 公共社会学科2年松岡実佳子さんが通関士試験に合格しました

令和3年11月26日、第55回通関士試験の合格者が発表され、人間社会学部公共社会学科2年生松岡実佳子さんが合格しました。

通関士試験の難易度は高く、過去の平均合格率は15.4%で、難易度の高い資格試験の一つとして知られています。

通関士とは、国家試験である通関士試験に合格した者のうち、勤務先の通関業者の申請に基づく財務大臣の確認を受け、通関業務に従事する者をいいます。

詳しくは財務省HP → [https://www.mof.go.jp/faq/customs\\_tariff/03aa.htm](https://www.mof.go.jp/faq/customs_tariff/03aa.htm)

合格した松岡さんは、「通関業界は法改正も多く、合格が学習のゴールではありません。引き続き国際物流のプロフェッショナルになれるよう、コツコツと努力していこうと思います。また、語学力を高めるために、英語や中国語も勉強中です。常に挑戦し続けることを忘れず、大学生として主体的に学び続けていきたいと考えています。」と今後の抱負を語りました。



## Topics 03

### 公共社会学科が、高等学校教諭一種免許状(情報)の教職課程認定を受けました

文部科学省に申請していた公共社会学科 高等学校教諭一種免許状(情報)について、令和3年11月15日付で認定されました。

これにより、令和4(2022)年4月より入学される方は、中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(公民)に加えて、高等学校教諭一種免許状(情報)を取得することができるようになりました。



## Topics 04

### 梅光学院高等学校生徒の卒業論文指導について

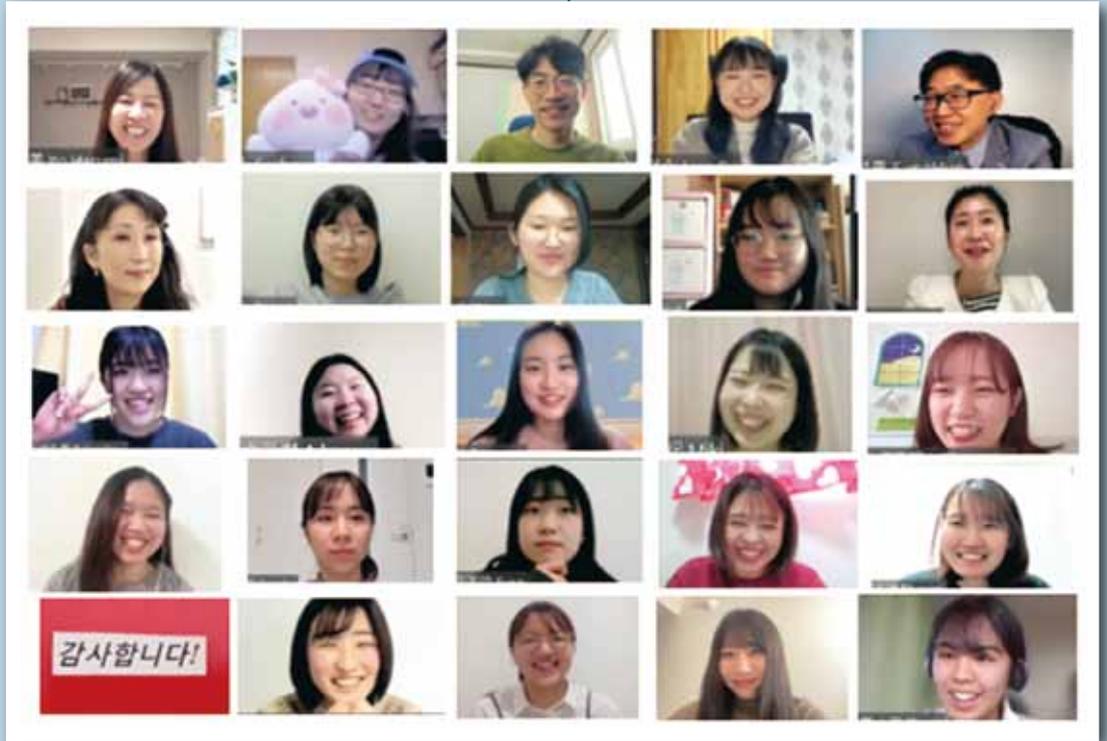
令和3年12月24日、下関市にある梅光学院高等学校生徒の卒業論文指導を、人間社会学部教員、学生で行いました。梅光学院生徒による発表に対し、実験方法に対する技術的な提案や、論文中で使う言葉の定義についてのアドバイスが行われ、「卒業論文の完成に非常に役に立ちました」との感想をいただきました。また、梅光学院生徒と本学学生との懇談では、梅光学院生徒からの入試や学生生活、今の学科を選んだ理由などの質問に対し、学生が一つ一つ丁寧に回答していました。

今後も、今回のような高大連携の取組を進めて、高等学校生徒の専門分野への関心・学習意欲を高めるとともに、取組を通じて本学の魅力を積極的に発信していきたいと思ひます。



オンライン  
日本語研修プログラム

令和4年2月7日～2月16日



本学協定校、大邱韓医大学校（韓国）の学生を対象に、オンライン日本語研修プログラムを実施しました。1週間のプログラムの中で、大邱の学生は日本語の授業を受け、学んだことを県立大のサポーターと実際に会話練習することで実戦的な日本語力を養いました。

また県立大生によるコリア語でのプレゼンテーションを参考にして、プログラム最終日に参加学生全員が日本語ですばらしいプレゼンテーションをすることができました。

今回のプログラムは、延べ人数 60 名以上のサポーター（県立大の日本人学生と三育大学校（韓国）の交換留学生）が活躍し、たくさんの笑顔あふれる学習と交流の場となりました。



▲県立大生と三育大生によるプレゼンテーション



▲大邱の学生によるプレゼンテーション

# 輝く先輩!

## Q&A

### 活躍する先輩に聞きました

#### Q. どんな仕事をされていますか

A. 母子健康手帳の交付や育児相談など、妊娠・出産・子育てに関する支援を行っています。  
具体的には、市役所窓口での相談や家庭訪問、乳幼児健診の実施、虐待を未然に防止するための取組などを行っています。

#### Q. 看護師、保健師になろうと思ったきっかけは

A. 中学生の頃から、医療現場にあこがれがあり、人を助ける人になりたいという思いがありました。それが看護師を目指したきっかけです。保健師になろうと思ったのは、高校3年生の時に仲の良かった同級生から、幼少期のつらい思いを打ち明けられたことがきっかけです。保健師になって、つらい思いをする子どもを一人でも減らしたいという気持ちが強く起きました。

#### Q. 福岡県立大学で何を学びましたか

A. 保健師コースを選んで、とにかく忙しかった思い出があります。それまでは試験勉強なども行き当たりばったりでこなしていたのですが、それでは試験や課題の提出にも対応することができなくなりました。この忙しかったおかげとも言えますが、何事も見通しをもって計画的に行う習慣が身についたと思います。  
また、忙しい中でも勉強、アルバイト、部活のすべてを一つも諦めることなくやり遂げました。何かを諦めることでその場をやり過ごすのではなく、すべてに全力で取り組みました。きつい思いもしましたが、この経験が自分のキャパを広げたのではないかと考えています。このほかには、授業の中でプレゼンテーションを行うことが多かったので、人前で話をするのが苦ではなくなりました。社会人になってこの経験が生きています。

#### Q. 大学時代にやって良かったこと

A. アルバイトや友達との旅行、飲み会、海外へのホームステイなど、色々なことがあります。アルバイトは家庭教師や居酒屋、引っ越し、家電量販店でのインターネットの販促などを経験しました。なかでも居酒屋でのアルバイトは、人との交流が大事な今の仕事にも活かされていると思います。

#### Q. 先生から言われた忘れられない一言はありますか

A. 尾形先生から「時間を守れずに遅刻ばかりしていたら、社会人になった時に苦労するわよ」と言われたことです。その一言があってから、授業に遅刻しないようになったことは当然ですが、自分だけでなく周りの人の時間を大切にするという意識が強くなりました。尾形先生には本当に感謝しています。

#### Q. 卒業して5年経ってから大学院に入学しましたが、大学院に入学しようと思ったきっかけは何ですか

A. 元々、一つのことを深く探求することが好きなので、学部卒業後10年位経ったら大学院に行くだろうとは思っていたんです。ただ、保健師として市役所で働くうち、色々な課題に直面し押しつぶされそうになっていました。知識はあるのに、課題解決に結びつけることができなかつたんです。学部の卒業後も尾形先生には相談に乗っていただいていたんですが、ある時相談に行ったら、大学院への入学を勧められました。その時の私の表情や態度から、先生が何かを感じたのかもしれない。私も「保健師のことをもっと深く学びたい」「今抱えている悩みが学びで解決するかもしれない」「視野を広げることができるかもしれない」と思い大学院への入学を決意しました。  
市役所で働きながらの履修なので、夜遅い授業など大変ですが、頭の中にバラバラに詰め込んでいた知識が整理され、知識と知識が繋がっていている感覚があります。入学前に抱えていた仕事での悩みも解決することができました。今では相談を受けると、こうやって解決すればいいんじゃないか、という解決への道が見えてくるようになりました。大学院に入学して、本当に良かったと思います。

#### Q. 県大生へのメッセージを

A. 自分の強みと弱みを知っておくことが大事です。強みを知っておけば、そこが自信につながります。弱みを知っておけば、自分が苦手なことに向かい合ったときに、気を付けて対応できるようになります。また、弱みを知っておくことで、失敗したときの心のダメージを少なくすることができます。自分に自信を持ちつつも、しかし、決して奢ったり自惚れたりせずに、物事に向かっていってください。  
もう一つ、なりたい自分をイメージすることも大事です。自分がやりたい仕事は簡単にイメージできますが、仕事を通じて自分がどうなりたいかを常に持ち続けてください。なりたい自分のはっきりしていれば、どんな仕事からでも得られるものはあります。  
私は、福岡県立大学で過ごした4年間を心から楽しむことができました。学生時代は色々なことを経験することができます。皆さんも失敗をおそれずに様々なことに挑戦してもらえればと思います。



大野城市役所こども部こども健康課  
古賀 未那子さん

平成27年度 看護学部看護学科 卒業  
看護師免許・保健師免許取得  
令和3年度 看護学研究科入学 現在在学中



# 保育者のより良い働き方を 目指して研究しています。



人間社会学部人間形成学科

伊勢 慎

**働き続けたい卒業生や現場の先生が継続して働ける  
職場環境の構築を目指しています。**

私が保育者の働き方に着目した理由は、私自身、保育士として3年の現場経験があり、その間保育職を辞めたくないのに辞めざるを得なくなった同僚の姿を見てきたからです。そして、保育者養成校の教員として働く中で卒業生を送り出してきましたが、残念ながら同様の姿を目にしました。

保育者を取り巻く日本の社会的背景として、女性の社会進出や共働き世帯の増加、それに伴う待機児童の問題が挙げられます。しかしながら、保育者の担い手不足と、就職後の離職の問題が課題となっています。また、保育者を対象とした研究において、仕事の継続意欲について、前向きな働き方の検討はあまりなされておらず、離職の問題ばかりが採り上げられています。そこで、継続して働くことに着目をして、現在働き続けている保育者を対象としたインタビュー調査及びアンケート調査を行い、継続できている要因を明らかにしようとしています。

まだ研究の途中段階ではありますが、インタビュー調査から保育者の前向きな働き方を調査する質問紙を作成し、以下の結果を得ています。



▲ オーストラリアでの学会発表



- (1) 勤務継続要因は、子どもとの関係において正の相関がありました。
- (2) 現在の職場での勤務年数と勤務継続要因は、緩やかな正の相関関係がありました。
- (3) 保育者養成校卒業後からの勤務年数と勤務継続要因は、緩やかな負の相関関係がありました。

これからは、さらに質問紙調査の結果を精査し、「保育者が継続して働きやすい職場環境の構築」のための研究を継続して行っています。

▲ 2021年出版  
『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』  
第1部の5「労働環境」の編者・執筆

# サークル紹介

## 運動系

### 軟式野球部

こんにちは。福岡県立大学軟式野球部です。軟式野球部は現在、17名の部員が所属しています。小学校から今まで野球を続けている選手、一度野球から離れたが、大学で再び野球を始めた選手、高校までソフトボールをしていた選手、大学から野球を始めた選手、女子プレイヤーなど、各部員の経歴は様々です。

軟式野球の魅力は競技人口の年代が幅広いことです。皆さんが普段目にされるようなプロ野球や甲子園で使用されるのは硬式球ですが、軟式球は小学校の野球クラブチームからシニアまで、幅広い年代と数多くのチームで使用されています。軟式野球は誰でも手軽に野球を楽しむことができる、競技人口の多いスポーツなのです。

軟式野球部は野球だけでなく、活動の後半は体育館に移動し、部員全員でレクリエーションを楽しんでいます。後半のレクリエーションのみの参加もOKなので、男女や野球経験問わず活動を楽しむことができます。

今年の目標は野球チームとしての活動を再興させることです。現在、男子部員の不足で学外にて試合を組むのが難しい状況です。長らく実戦から遠ざかっているため、新入部員の獲得やOB・OGの皆さんにお声かけをして、年内に最低5試合の実戦経験を積みます。



## 文科系

### ハンドポスト

こんにちは、手話サークルハンドポストです。現在メンバーは26人で、週に1回、月曜日に活動しています。週ごとに活動のテーマを決め、簡単な日常会話の練習や手話を使ったゲームを通して、みんなで手話を覚えています。基本的な挨拶や自分の好きなものなど身近なことを、手話で表現し伝えられるのでとても楽しいです。また、手話コーラスの練習も行っています。そして、手話をたくさんの人に触れてもらうため、秋興祭のステージ発表などのイベントで披露しています。活動では手話が思うように覚えられないなどの困難もありますが、メンバー同士で教え合いながらできるようになります。このような交流ができるのもハンドポストの魅力です。

今後の目標は、より多くの表現を覚えて思い通りに手話ができるよう、日常会話の手話を深く勉強していくことです。また、手話コーラスを通して手話の魅力を広める活動も精力的にしていきたいです。

手話も言語の1つです。手話を楽しく覚えてコミュニケーションの輪を広げてみませんか。メンバーも初心者が多いので私たちと一緒に身につけましょう。手話に興味がある方や新しいことを始めたい方は、ぜひ気軽にハンドポストの活動に立ち寄ってみてください。



# 退職教員のご紹介



氏名 許棟翰  
学部 人間社会学部 教授  
専門分野 労働経済学



氏名 阪井裕一郎  
学部 人間社会学部 講師  
専門分野 家族社会学



氏名 潤野由夏  
学部 看護学部 准教授  
専門分野 基礎看護学

## 2回目 松和会から生活支援物資が寄贈されました。

令和3年10月29日（金）松和会から本学学生に支援物資をいただきました。松和会からの支援物資の寄贈は、今年度2回目となります。

今回は、学生支援センターに物資を搬入いただき、代表の浅地様から大学代表の学生支援班長へ物資の目録が手渡されました。

今回寄贈された物資は本学学生へ配布されました。松和会様、ありがとうございました。



## 田川市市民活動感謝状をいただきました。

この感謝状は田川市のためにボランティアで貢献したり、善意を込めて寄付をしたり、各分野で功績をあげたりしている人や団体に送られます。

市民活動部門（団体の部）のうち、本学からは、「福岡県立大学 BBS（平成24年度設立）」が感謝状をいただきました。

このような機会を設けてくださった田川市に感謝し、今後の励みとしてボランティア活動を続けて参ります。



## 福岡県立大学基金 寄附のお願い

福岡県立大学では、学生生活、教育研究等の充実に図り、福祉社会に貢献できる人材を育成することを目的に基金を設置しています。寄附金は、学生支援、国際交流、教育研究活動等の実施に活用されますが、用途を指定することもできます。

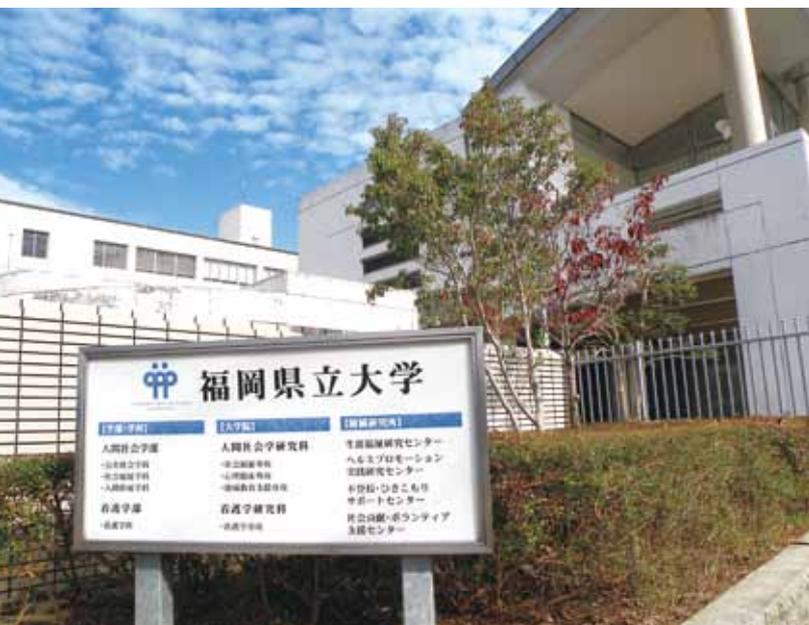
皆様方からの格別のご協力とご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

### ■ご寄附のお申込み方法

「福岡県立大学」のホームページに詳細をご案内しておりますのでご確認ください。下記の連絡先にお問い合わせ願います。

### ■連絡先

経営管理部総務財務班 TEL 0947-42-2118



# Kendai Magazine

Fukuoka Prefectural University  
福岡県立大学広報

No. 32  
2022 Spring

- 発行 福岡県立大学
- 所在地 福岡県田川市伊田 4395
- 電話 0947-42-2118
- 編集 学務部 教務入試班

<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>

